ワークシート：DP・CPの対応関係】

情報工学　学士教育プログラム

学習教育目標【A】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【A】

[自律性](A) 自ら掲げた目標を達成するために計画的にかつ継続的に行動する。
(A-1) 自ら目標を掲げ、自ら考え、積極的に行動する。
(A-2) 目標を達成するために計画的かつ継続的に行動する。

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【A】を達成するための取組
＜授業の構成(教育内容・方法),科目間の順次性・関連性,科目名＞

1年次前期の「プロジェクト・デザインI」及び2年次前期の「プロジェクト・デザインII」を通して、大学で何を何のためにどのように学ぶかについて自ら考え、修学プランを立案し自律的に学ぶ事の大切さを修得する(A-1)(A-2)。

1，2年次の「プロジェクト・デザインI, II」および3年次の「情報工学実験III, IV」では、プロジェクト演習および長期グループ実験を通して、計画的かつ継続的に行動することを経験・学習する(A-1)(A-2)。

3年次の「キャリア実践」では、これまでの修学の成果を確認するとともに卒業後のキャリアパスを考慮しながら修学プランを立案することで自律性を高める。

4年次の「卒業研究」、「セミナー」では各自目標を掲げ、考え、計画的、継続的、自律的に行動する事で履修する(A-1)(A-2)。

（3）学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	プロジェクト・デザインI	2	1年次	前期	演習
必修（専門）	プロジェクト・デザインII	2	2年次	前期	演習
必修（専門）	情報工学実験III	1.5	3年次	前期	実験
必修（専門）	キャリア実践	2	3年次	前期	演習
必修（専門）	情報工学実験IV	1.5	3年次	後期	実験
必修（専門）	セミナー	2	4年次	通年	演習
必修（専門）	卒業研究	6	4年次	通年	その他

合計単位数　17

初年次 → 高年次

ワークシート：DP・CPの対応関係】

情報工学　学士教育プログラム

学習教育目標【B】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【B】

[社会理解と協調性](B) 学習・研究成果を社会に還元する意義と技術者としての社会に対する責任を理解するとともに、多様な人々と協調して行動する。
(B-1) 地域・国際社会を理解し、技術者としての知識と技術を社会に役立てる意義を理解する。
(B-2) 技術者としての倫理を修得し、社会に対する責任を自覚する。
(B-3) 集団の中で共通目標を設定し、それを達成するためのチームワーク力と協調性を修得する。

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

1年次前期の「情報社会と情報倫理」で、技術者としての知識と技術を社会に役立てる意義と責任を学習する。2年次以降を対象とした選択科目の「インターンシップI, II, III」を履修する事で、会社の仕組み、社会の仕組みを実体験を通して学習する(B-1)。

技術者倫理に関して「情報社会と情報倫理」で系統立てて学習する。「プロジェクト・デザインI, II」では、プロジェクト演習を通して具体的な事例について検討する事で理解を深める(B-2)。

1，2年次の「プロジェクト・デザインI, II」のプロジェクト演習、3年次の「情報工学実験III, IV」の長期グループ実験を通して、チームワーク力と協調性を学習する(B-3)。

3年次の「キャリア実践」では卒業後のキャリアパスを具体的に考えることで、技術者として社会に貢献する意義、その際の責任について理解と自覚を深める。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（共通）	情報社会と情報倫理	2	1年次	前期	講義+演習
必修（専門）	プロジェクト・デザインI	2	1年次	前期	演習
必修（専門）	プロジェクト・デザインII	2	2年次	前期	演習
自由選択（専門）	インターンシップI	2	2年次	前期/後期	実習
必修（専門）	情報工学実験III	1.5	3年次	前期	実験
自由選択（専門）	インターンシップII	2	3年次	前期/後期	実習
必修（専門）	キャリア実践	2	3年次	前期	演習
必修（専門）	情報工学実験IV	1.5	3年次	後期	実験
自由選択（専門）	インターンシップIII	2	4年次	前期/後期	実習

合計単位数　17

初年次 → 高年次

ワークシート：DP・CPの対応関係】

情報工学　学士教育プログラム

学習教育目標【C】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【C】

[コミュニケーション能力](C) 地域・国際社会で通用するコミュニケーション能力を修得する。
(C-1) 英語を中心とした外国語による基本的なコミュニケーション能力を修得する。
(C-2) 知識、構想等を論理的に文章・図表等を用いて記述する能力、口頭発表する能力、および討議等を行う能力を修得する。

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【C】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

1年次前期から3年次前期まで継続的に共通教育の外国語科目を履修する事で国際社会で通用するコミュニケーション能力の基礎を修得する。また、3年次後期、4年次を対象とした専門選択科目の「情報英語I, II」及び「技術英語プレゼンテーション」でより専門に密接した英語による表現力、プレゼンテーション能力を見につける（C−1）。

1年次または2年次の早い段階で「日本語表現法」を履修することにより実用的な日本語能力を修得する。同時に1，2年次の専門科目である「プロジェクト・デザインI, II」では、一般的な報告書の作成法、プレゼンテーション法の基礎を学習する。また、2年次、3年次の「情報工学実験I, II, III, IV」においては、報告書作成を通して表現能力の改善を行う。さらに、4年次の「卒業研究」、「セミナー」において、論文作成能力、プレゼンテーション能力、討議をする能力を身につける(C-2)。

（3）学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（共通）	大学英語	4	1年次	前期	講義
選択必修（共通）	その他共通教育外国語科目	8	1～3年次	前期/後期	講義
必修（共通）	日本語表現法	2	1～2年次	前期/後期	講義
必修（専門）	プロジェクト・デザインI	2	1年次	前期	演習
必修（専門）	プログラミングI	2	1年次	前期	講義
必修（専門）	プログラミングII	2	1年次	後期	講義
必修（専門）	プロジェクト・デザインII	2	2年次	前期	演習
必修（専門）	情報工学実験I	1.5	2年次	前期	実験
必修（専門）	情報工学実験II	1.5	2年次	後期	実験
必修（専門）	情報工学実験III	1.5	3年次	前期	実験
必修（専門）	情報工学実験IV	1.5	3年次	後期	実験
自由選択（専門）	情報英語I	2	3年次	後期	講義
自由選択（専門）	情報英語II	2	3年次	前期	講義
自由選択（専門）	技術英語プレゼンテーション	2	4年次	後期	演習
必修（専門）	セミナー	2	4年次	通年	演習
必修（専門）	卒業研究	6	4年次	通年	その他

合計単位数　42

初年次 → 高年次

ワークシート：DP・CPの対応関係】

情報工学　学士教育プログラム

学習教育目標【D】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【D】

[基礎学力](D) 情報工学分野を継続して学習するための基礎学力を修得する。
(D-1) 情報工学分野で必要な数学・物理学の基礎学力を身につける。
(D-2) 数学・物理学を情報工学分野で応用する。

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【D】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

1，2年次において、共通教育の専門基礎科目の「微分積分学ST I, II」（または「微分積分学入門I, II」）、「物理学I, II」（または「物理学入門I, II」）、「情報数学I, II」、「線形代数学」、「工業数学I, II」、「確率統計」を履修する事で基礎学力を身につける(D-1)。

上記数学系科目、「物理学（または同入門）I, II」の中で、応用の概要を理解するとともに、多くの専門科目の中で詳細を学習する(D-2)。

（3）学習教育目標【D】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（共通）	微分積分学ST I	2	1年次	前期	講義
必修（共通）	微分積分学ST II	2	1年次	後期	講義
必修（専門）	情報数学I	2	1年次	前期	講義
必修（専門）	線形代数学	2	1年次	前期	講義
必修（専門）	情報数学II	2	1年次	後期	講義
自由選択（専門）	工業数学I	2	1年次	後期	講義
自由選択（専門）	工業数学II	2	2年次	前期	講義
必修（専門）	確率及び統計	2	2年次	前期	講義
必修（共通）	物理学I	2	2年次	前期	講義
必修（共通）	物理学II	2	2年次	後期	講義

初年次 → 高年次

合計単位数　20

ワークシート：DP・CPの対応関係】

情報工学　学士教育プログラム

学習教育目標【E】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【E】

[柔軟性](E) 幅広い教養と柔軟な思考力を修得し、複雑な問題に適切に対応する。
(E-1) 社会科学、人文科学、自然科学の広い領域の教養を修得する。
(E-2) 幅広い分野の情報や知識を活用し、柔軟に物事を思考する。

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【E】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

共通教育の社会科学、人文科学、自然科学系の科目を履修することによって幅広い領域の教養を身につける(E-1)。
「プロジェクト・デザインI, II」、「情報工学実験III, IV」のプロジェクト演習、長期グループ実験においては、情報工学の専門領域をベースにして、様々な課題を柔軟な思考で解決することを経験・学習する。また、卒業研究では、課題解決に向けてより深い専門的な分野で柔軟に物事を思考し課題解決を図る(E-2)。

（3）学習教育目標【E】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	プロジェクト・デザインI	2	1年次	前期	演習
必修（専門）	プロジェクト・デザインII	2	1年次	前期	演習
必修（専門）	情報工学実験III	1.5	3年次	前期	実験
必修（専門）	情報工学実験IV	1.5	3年次	後期	実験
選択必修（共通）	共通教育		1～4年次	前期/後期	講義

合計単位数　7

初年次 → 高年次

ワークシート：DP・CPの対応関係】

情報工学　学士教育プログラム

学習教育目標【F】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【F】

[実践性](F) 情報工学分野の実践的な技術を修得する。
(F-1) プログラミング技術を修得する。
(F-2) 情報工学分野の基本的な技術を修得する。

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【F】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

「プログラミングI, II」、「ソフトウェア演習I, II」において、講義、演習を通して基本的なプログラミング技術を修得する。また、その他の多くの専門科目では課題演習等を通してプログラミング能力の向上を図る(F-1)。
「ソフトウェア演習I, II」、「情報工学実験I, II」の課題演習、実験を通して、情報工学分野の技術者としての情報リテラシーを修得する。また、その他の多くの専門科目の演習を通して技術の向上を図る(F-2)。

（3）学習教育目標【F】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	プログラミングI	2	1年次	前期	講義
必修（専門）	ソフトウエア演習I	2	1年次	前期	演習
必修（専門）	プログラミングII	2	1年次	後期	講義
必修（専門）	ソフトウエア演習II	2	1年次	後期	演習
必修（専門）	情報工学実験I	1.5	2年次	前期	実験
必修（専門）	情報工学実験II	1.5	2年次	後期	実験

初年次 → 高年次

合計単位数　11

ワークシート：DP・CPの対応関係】

情報工学　学士教育プログラム

学習教育目標【G】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【G】

[課題解決能力と創造性](G) 情報工学の理論及び技術を総合的に活用し、与えられた制約下で創意工夫により課題を解決する能力を修得する。
(G-1) 問題を分析し、モデル化を行い、課題を適切に設定する。
(G-2) 与えられた制約の下で、修得した知識と技術を総合して課題を解決するとともに、解決法を適切な評価尺度で評価する。
(G-3) 課題解決において創意工夫を行う。

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【G】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

「モデリングと設計」において、モデリングと設計の基本的な知識とスキルを身につける。また、「情報工学実験III, IV」、「卒業研究」、および他の専門選択科目の課題を通して、課題解決法の設計、およびモデリングを経験することで、理解とスキルを高める(G-1)。
「情報工学実験III, IV」の長期グループ実験、および「卒業研究」を通して、課題解決能力を修得する。どちらも答えが一つではない課題を自ら設定し、より適切な解を導きだすことが求められる(G-2)。
「情報工学実験III, IV」の長期グループ実験、および「卒業研究」の中で課題解決のための創意工夫を行う。創意工夫を行わないと課題解決ができない(G-3)。

（3）学習教育目標【G】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	モデリングと設計	2	2年次	後期	講義+演習
必修（専門）	情報工学実験III	1.5	3年次	前期	実験
必修（専門）	情報工学実験IV	1.5	3年次	後期	実験
必修（専門）	卒業研究	6	4年次	通年	その他

初年次 → 高年次

合計単位数　11

ワークシート：DP・CPの対応関係】

情報工学　学士教育プログラム

学習教育目標【H】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【H】

[専門性](H) 情報工学分野の専門的な知識を修得する。
(H-1) 情報工学のコア知識を修得する。
(H-2) コンピュータシステム系、情報通信系、コンピュータ応用系の領域の知識を修得する。

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【H】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

情報工学コア科目を履修する事で情報工学分野の基本的な知識を修得することができる(H-1)。
情報工学コア科目をベースにして、専門選択科目を系統立てて履修する事でより深い分野の知識を修得することができる(H-2)。

（3）学習教育目標【H】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	プログラミングI	2	1年次	前期	講義
必修（専門）	情報社会と情報倫理	2	1年次	前期	講義+演習
必修（専門）	プログラミングII	2	1年次	後期	講義
必修（専門）	アルゴリズムとデータ構造	2	1年次	後期	講義
必修（専門）	コンピュータシステム	2	2年次	前期	講義
必修（専門）	情報ネットワークI	2	2年次	前期	講義
必修（専門）	計算機アーキテクチャ	2	2年次	前期	講義
必修（専門）	オペレーティングシステム	2	2年次	後期	講義
必修（専門）	モデリングと設計	2	2年次	後期	講義+演習
必修（専門）	データベースシステム	2	2年次	後期	講義
自由選択（専門）	その他の専門科目		2～4年次	前期/後期	講義

初年次 → 高年次

合計単位数　20